



開発背景

- ・ OSのサポート終了に伴い、サーバーの入れ替えが必要だが、予想以上に費用が掛かる。
- ・ 現行システムの入力はすべて本社で行っており、本社に負担が掛かっている。



ツールによるシステム構築によりOS、ミドルウェアに依存しにくいシステムにし、保守性を高めると同時にWebアプリケーションにすることで他拠点での入力を可能にし、本社の負荷を分散させる。



お客様

- ・ 滋賀県彦根市のお客様（従業員数約360名、システム利用者約100名）
- ・ 担当窓口2名（現行システムをよく理解しているがパソコンはあまり詳しくない）



開発規模

- ・ 画面数61（登録/更新9, ログイン/ポータル18, マスタ16, 検索/帳票出力18）
- ・ 帳票数19（用紙サイズは帳票により様々 A4縦/横、A3縦/横）
- ・ ストアド260（データ登録時の履歴/前回との差分抽出、月次集計等）
- ・ サーブレット2（帳票出力、JavascriptからのDB参照）
- ・ JSP1（独自ログインページ）
- ・ Javascript54（入力画面制御、帳票出力制御等）



開発の流れ

- ・まずはシステム要件のヒアリング（基本設計）を行い、それに基づきプロトタイプを開発。
- ・お客様にプロトタイプを見ていただき、システム要件に問題がないかどうかを確認し、本開発、テスト、データ移行を経て、納品。

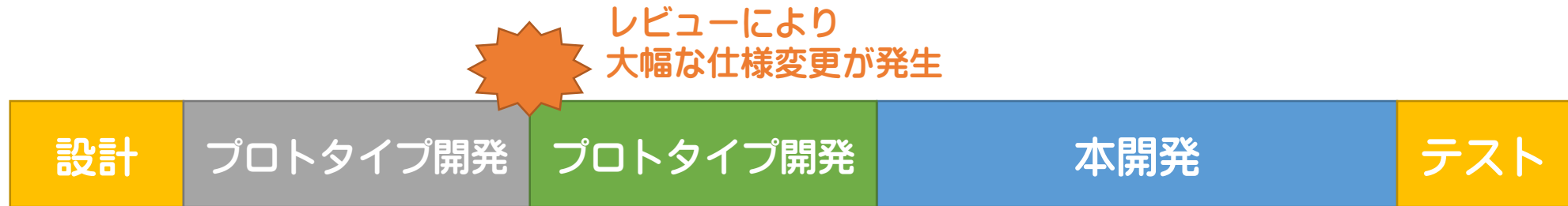


宮城県⇄滋賀県と場所が離れているため、Webブラウザだけで画面共有可能なサービス appear.in を利用し、お客様に実際のシステム画面を見ていただきながら適宜レビューを行い、アジャイル開発で仕様を決めていく手法を取る。



開発期間

- ・ 2016年7月～2017年3月 約9ヶ月
- ・ 設計1ヶ月、プロトタイプ開発4ヶ月、本開発3ヶ月、テスト1ヶ月



始めに設計した内容から**ほぼすべて作り直し**になる程の仕様変更が発生したが
超高速開発ツールにより2ヶ月でプロトタイプを開発



開発体制

- ・プロジェクト管理 + 設計 1名
- ・開発（メイン） + 設計 1名
- ・開発 + 帳票 1名
- ・ストアド開発 1名
- ・データ移行 1名

計 5 名体制



その他

課題管理にKintoneを活用



メールのやりとりでは把握しづらい残作業を見える化

保守フェーズで瑕疵担保/システム改修の作業報告として活用



今回の開発により実現出来たこと

- ・ **本社の入力負荷を各拠点へ分散**

Webアプリケーションになり各拠点から入力が可能になった

- ・ **複写伝票の電子化による業務改善**

各拠点から本社へ伝票を郵送→本社で入力→各拠点へ郵送 という
紙での作業がなくなり、過去の伝票も検索しやすくなった

- ・ **作業進捗の見える化**

伝票のやりとりが電子化され、各拠点で進捗状況を確認できるようになった



今後のフェーズとして

- ・ **原価管理機能の追加**

Excelで管理している原価管理を本システムに組み込み、伝票毎/担当者毎の利益を
管理/集計できるようにする